

様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月6日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 299-0107

住 所 千葉県市原市姉崎海岸6

法人名 日本板硝子株式会社 千葉事業所

代表者 宮之本 昭二

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0436-61-4118

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本板硝子株式会社 千葉事業所		
事業場の所在地	千葉県市原市姉崎海岸6		
計画期間	令和7年4月1日	から	令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類： 製造業 中分類： 窯業・土石製品製造業
②事業の規模	14,302百万
③従業員数	621
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

(日本産業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙参照

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	別表の通り	
	排出量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	（これまでに実施した取組）		
	廃プラ：選別して、プラスチック原料として有効利用している。 有効利用先の拡大。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	木屑：製品入出荷過程で生じる廃木材（パレット、梱包材）は、 分別回収、破碎減容してマテリアル又はサマリサイクルを行っている 汚泥：原料への再利用の促進
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	汚泥：原料への再利用の促進

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
該当なし			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
該当なし			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
該当なし			

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
優良業者、再生利用業者の可能な限りの選択			

【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	別表の通り
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(今後実施する予定の取組) 優良業者、再生利用業者の可能な限りの選択を継続する		
※事務処理欄		

## 備考

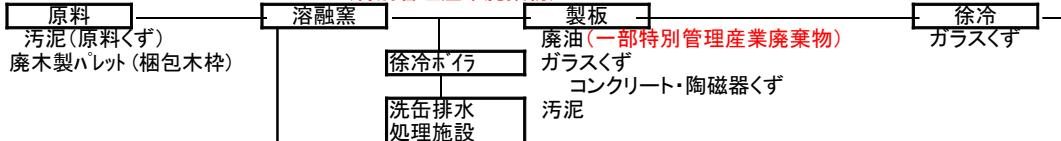
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
  - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
  - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
  - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
  - 7 ※欄は記入しないこと。

### 別紙 事業工程図(産業廃棄物の一連の処理の工程)

・フロート板ガラス

3

ばいじん(特別管理産業廃棄物)

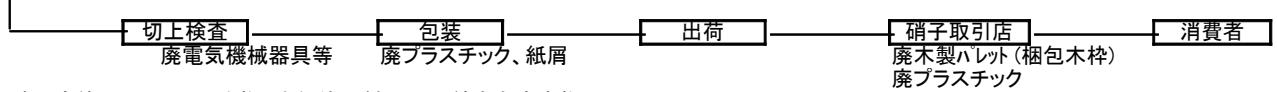


磷酸(特別管理産業廃棄物)

廃アルカリ

汚泥(特別管理産業廃棄物)

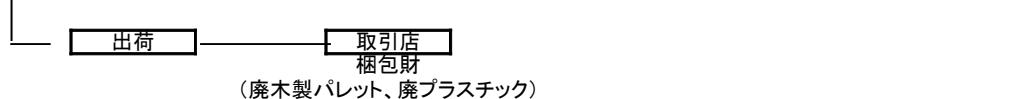
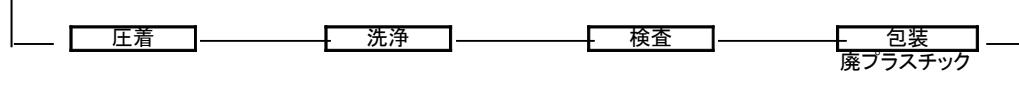
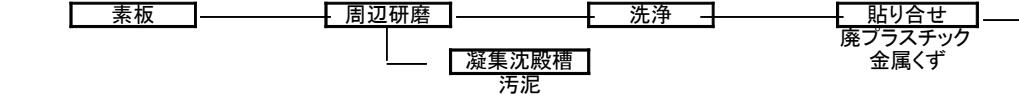
排煙脱硫装置(芒硝回収法)



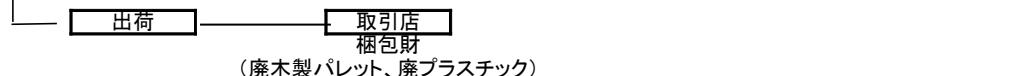
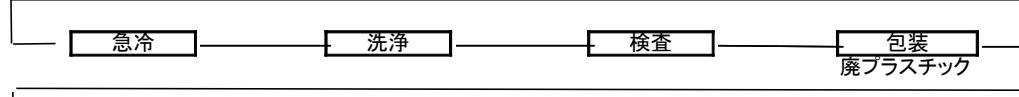
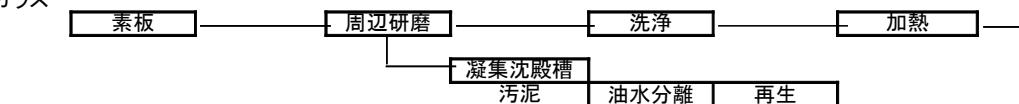
・建屋全体 = PCB汚染物、水銀使用製品、(石綿含有廃棄物)

・複層ガラス

・合わせガラス



・強化ガラス

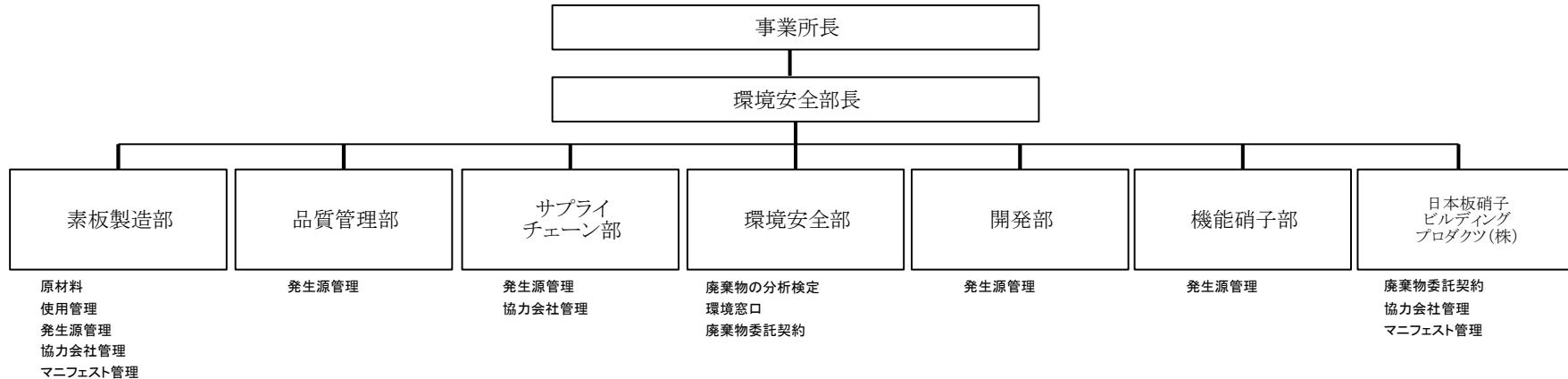


・工業用水



廃棄物の名称	処理の内容			
	自己処理	中間処理(委託)		最終処分(委託)
産業廃棄物				
廃木製パレット(梱包木枠)	選別	破碎	再生	
廃木製パレット(梱包木枠)	選別	焼却		安定型埋立
廃油	選別			
金属くず	選別	焼却	再生	
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	選別	破碎	再生	残渣一部安定型埋立
廃プラスチック	選別	破碎	再生	
廃プラスチック	選別	焼却		
汚泥	脱水			
汚泥	選別	混合	再生	
廃アルカリ	選別	中和	再生	
燃え殻	選別			安定型埋立
廃酸	選別	中和	再生	
その他混合廃棄物	選別	破碎	再生	
水銀使用製品	選別	破碎	再生	
廃電気機器	選別	破碎	再生	
安定型混合廃棄物	選別	破碎	再生	

## 管理体制



## 別紙別紙別紙

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項産業廃棄物の排出の抑制に関する事項産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 <sup>6</sup> 年度）実績】												
①現状①	産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類	木くず木くず木くず	廃油廃油廃油	金属くず金属くず金属くず	・陶磁器ガラス・コングリート	廃プラスチック廃プラスチック廃プラスチック	汚泥汚泥汚泥	廃酸廃酸廃酸	合 廃棄物建設混	ばいじん	廃機械類廃機械類廃機械類	用 製品水銀使
	量排 出	量排	363.7 t	7.4 t	6.2 t	797.2 t	51.9 t	1154.9 t	2.5 t	8.3 t	24.7 t	0.5 t
【目標】【目標】【目標】												
②計画②	産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類	木くず木くず木くず	廃油廃油廃油	金属くず金属くず金属くず	・陶磁器ガラス・コングリート	廃プラスチック廃プラスチック廃プラスチック	汚泥汚泥汚泥	廃酸廃酸廃酸	合 廃棄物建設混	ばいじん	廃機械類廃機械類廃機械類	用 製品水銀使
	量排 出	量排	750 t	10 t	10 t	1300 t	100 t	900 t	10 t	10 t	10 t	1 t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 <sup>6</sup> 年度）実績】												
①現状①	産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類	木くず木くず木くず	廃油廃油廃油	金属くず金属くず金属くず	・磁器ガラス・コンクリート	廃プラスチック	汚泥汚泥汚泥	廃酸廃酸廃酸	合 廃棄物建設混	ばいじん	廃機械類廃機械類廃機械類	用 製品水銀使
	量産業廃棄物	量産	t	t	t	t	t	715.6 t	t	t	t	t
【目標】【目標】【目標】												
②計画②	産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類産業廃棄物の種類	木くず木くず木くず	廃油廃油廃油	金属くず金属くず金属くず	・磁器ガラス・コンクリート	廃プラスチック	汚泥汚泥汚泥	廃酸廃酸廃酸	合 廃棄物建設混	ばいじん	廃機械類廃機械類廃機械類	用 製品水銀使
	量産業廃棄物	量産	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 <sup>6</sup> 年度）実績】												
①現状①	廃棄物の種類産業廃棄物	木くず木くず	廃油廃油	金属くず金属くず	・陶磁器ガラス・コングリート	廃プラスチック廃プラスチック	汚泥汚泥	廃酸廃酸	合 廃棄物建設混	ばいじん	廃機械類廃機械類	製品水銀使
	処理委託量全処理委託	363.7 t	7.4 t	6.2 t	797.2 t	51.9 t	432.1 t	2.5 t	8.3 t	24.7 t	0.5 t	0.2 t
【目標】【目標】												
②計画②	廃棄物の種類産業廃棄物	木くず木くず	廃油廃油	金属くず金属くず	・陶磁器ガラス・コングリート	廃プラスチック廃プラスチック	汚泥汚泥	廃酸廃酸	合 廃棄物建設混	ばいじん	廃機械類廃機械類	製品水銀使
	全処理委託量	750 t	10 t	10 t	1300 t	100 t	900 t	10 t	10 t	10 t	1 t	0.8 t